

米神山登山道整備

佐田まちづくりだより

第128号



スマホでカラー版が見れます

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、山開き神事は実施したものの、イベントの中止を余儀なくされた米神山巨石祭。

例年であれば、巨石祭の開催に合わせて事前に行われる米神山の登山道整備。今年も二月二十七日に行う予定でした。

しかし、あいにくの雨の予報。作業に従事してくれる方々の安全を考慮し、一週間延期することに。

その後、土曜日、日曜日ごとに雨。幾度となく延期せざるを得ない状況。

参加表明者には、予定が立てられず困っているのではと、申し訳ない気持ちで心が折れそうでした。

約一か月半の延期、延期で迎えた四月一日、やっと太陽が微笑んでくれました。

総勢九名の精鋭が集結し

ある人は草刈り機、ある人は鉄筋とパイプ、またある人は全員分の弁当とお茶を背負い、片手にスコップやバチ、ハンマーを持って山頂を目指して京石の駐車場を出発しました。

大きな声では言えませんが、また私事で恐縮ですが京石の裏切り、まだ一〇メートルぐらいいしか進んでいない時点で異様にふくらはぎが張り、脚全体がだるくなり、このままでは山頂など到底たどり着けない、リタイアしたい、何か良いコツつけは無いかなどと考えておりました。

そんなに体調が悪いの？と心配して下さった方、すみません。

日頃の運動不足が祟ったもので、歩を進めていくと段々と解消しました。

今回の作業も例年の如く斜面の滑りやすく危険な箇所



背負子に資材を固定する作業従事の方々



所を削り、鉄筋を打ち込んでパイプを固定して階段状にしていくというものです。

限られた人員で、持てる範囲の資材を背負っての作業ですので、数多く作れるものではありませんが、これまででのコツコツと積み上げていった成果が出てきています。

作業員自身もこれまでに出来上がった段を活用することで、年々負担が軽減されてきています。

こうして今年度も四七五メートルの山頂までの間をエッチラオッチラと少しずつ整備をしました。

山頂からの佐田の景色は最高ですよ。

皆様も米神山にどうぞ登ってみて下さい。

整備作業を希望する方も遠慮なく申し出て下さい。作業に従事して

下さった方々、お疲れ様でした。

ありがとうございました。

作業の様子



綺麗な花が沢山映っていました



第2展望台からの景色

